

梯川分水路竣工式

～小松天満宮を核とした個性豊かな歴史・文化のまちづくり～

梯川河川改修の一環で整備してきました天神町地区の分水路方式による改修事業が計画策定から21年を経て、11月に完成します。

国指定重要文化財を浮島方式により現位置を保全した河川改修は大変珍しく、地域のシンボルとして期待されています。

分水路完成にあたり、事業にご支援・ご協力いただきました皆様へ感謝の意を表し、竣工式を開催します。

小松天満宮社殿

本殿、石の間、幣殿及び拝殿
(国指定重要文化財/昭和36年6月指定)

小松天満宮神門

(国指定重要文化財/昭和36年6月指定)



小松天満宮は、小松城に在城の前田利常公の発願により、創建されました。
本殿は小松城本丸と金沢城本丸を結ぶ一本の線上に立地しており、我が国でも典型的な鬼門立地の社といえます。

開催日：平成29年11月19日(日) 10:00～

会場：小松大橋下流右岸堤防(小松市天神町)

**主催：国土交通省 北陸地方整備局
梯川水系河川改修促進期成同盟会**

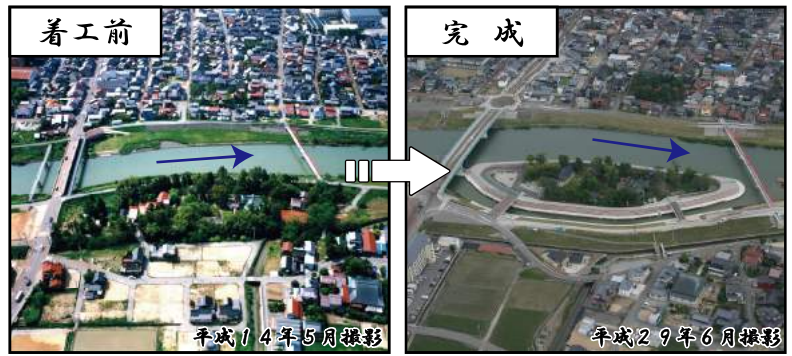
式典会場のご案内



記念式典概要

～ 式次第 ～

1. 開式
2. 式辞
 - 北陸地方整備局長
3. 挨拶
 - 石川県知事
 - 国会議員
 - 国土交通省 水管理・国土保全局
4. 来賓紹介・祝電披露
5. 工事説明
 - 金沢河川国道事務所長
6. 謝辞
 - 梯川水系河川改修促進期成同盟会 会長
7. 記念植樹
8. 閉会
9. 竣工記念イベント



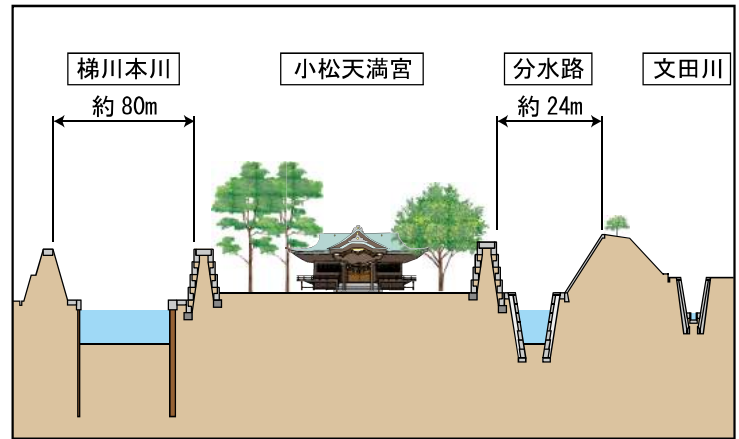
梯川分水路の移り変わり

梯川分水路のあゆみ

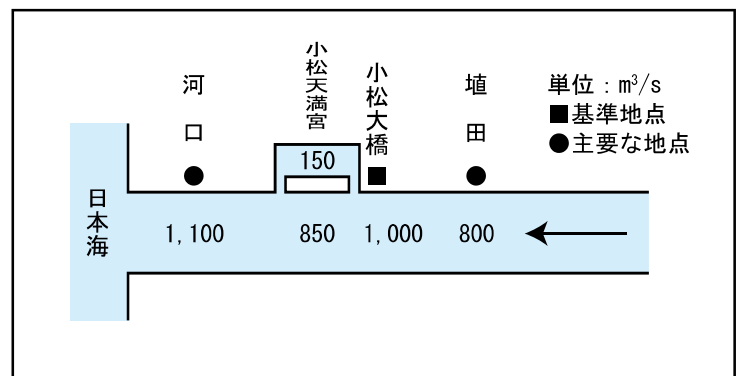
梯川河口から3.0km右岸付近には、国指定重要文化財の小松天満宮があり、地域のシンボルとなっています。

このため、平成8年に文化財保護の視点より、小松天満宮の移設を伴う引堤計画から文化財の現位置保存を可能とする分水路計画に変更しました。平成11年には、分水路計画についての都市計画決定がなされ、現在に至るまで、まちづくり・川づくり・道づくりが一体となった整備が進められました。

昭和34年8月	台風7号による洪水（本川・支川堤防決壊）
昭和43年8月	台風10号による洪水（支川堤防決壊）
昭和46年	梯川一級河川指定
昭和49年	梯川改修計画策定
平成8年5月	直轄河川改修計画改訂
平成11年1月	都市計画決定
平成12年	分水路関連用地買収着手
平成18年	小松大橋架替着手
平成20年6月	梯川水系河川整備基本方針策定
平成23年3月	小松大橋架替工事完了 供用開始
平成27年3月	大川やわらぎ街道まちづくり完成
平成28年3月	梯川水系河川整備計画策定
平成28年11月	梯川分水路通水
平成29年11月	梯川分水路完成



梯川分水路断面図



梯川計画流量配分図（梯川水系河川整備基本方針）

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局
金沢河川国道事務所 工務第一課

〒920-8648
金沢市西念4丁目23番5号
TEL(076)264-8800（代表）
受付時間：土日祝日を除く 9:00～17:00



国土交通省 北陸地方整備局

金沢河川国道事務所